

2018年度「豊田理研スカラー」氏名と研究テーマ

No.	大学	氏名	研究テーマ
1	北海道大学	山本 拓矢	環状ポリエチレングリコールを利用した新奇医薬材料開発 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_1.pdf
2		柳瀬 隆	ナフタレンを溶媒に用いた置換基のない長鎖ポリアセンの合成と再結晶及びそのトランジスタ特性評価 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_2.pdf
3		鎌田 瑠泉	脂肪滴形成・融合・分解の制御機構解明を目指した新規蛍光プローブの開発 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_3.pdf
4		齋尾 智英	常磁性ランタノイドプローブを用いたタンパク質の動的構造解析法の確立 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_4.pdf
5	東北大学	伊藤 弘毅	顕微テラヘルツ波発生法の開発による電荷秩序ドメインの空間ダイナミクス解明 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_5.pdf
6	東京大学	伊藤 喜光	新規機能性ソフトマテリアル創成のための異形分子共集積化技術の開発 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_6.pdf
7		出浦 桃子	高品質窒化物半導体成長に向けたシリコン基板の表面炭化反応を用いた炭化ケイ素薄膜形成 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_7.pdf
8		後藤 佑樹	トリパノソーマ寄生虫由来の代謝酵素を共有結合的に阻害する人工環状ペプチド薬剤の創製 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_8.pdf
9		吉村 英哲	mRNA 機能の生細胞内空間特異的操作法の創出 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_9.pdf
10	東京工業大学	金森 功史	GFP 色素を用いた糖鎖受容体の複数色蛍光プローブの開発 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_10.pdf
11		重松 圭	高圧安定四重ペロブスカイトの薄膜化による磁気異方性制御とスピントロニクス応用への展開 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_11.pdf
12	静岡大学	田代 陽介	光励起型金属ナノ粒子触媒の創製に資する大腸菌線毛の基板材料開発 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_12.pdf
13	豊橋技術科学大学	鯉田 孝和	神経電極の超高分解能マーキング手法の開発 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_13.pdf
14	名古屋大学	山本 徹也	炭素繊維強化熱可塑性樹脂の高性能化とリサイクルを実現する界面制御技術の開発 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_14.pdf
15		鈴木 陽香	パルス駆動誘導結合型プラズマによる SiC 材料の高選択性かつ低ダメージエッチング技術の開発 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_15.pdf
16		中道 範人	重複性遺伝子がおこなす複雑系生命現象「植物体内時計」の解明 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_16.pdf
17		中 寛史	水移動型水和-脱水反応の開発 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_17.pdf
18	名古屋工業大学	吉井 達之	蛋白質の細胞内濃度を精密に制御する汎用的手法の開発 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_18.pdf
19	豊田工業大学	椎原 良典	ナノメカニクス諸現象を解明する原子応力計算法の開発 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_19.pdf
20	岐阜大学	古山 浩子	脳移行性を有する機能性 PET プローブの開発研究 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_20.pdf
21	三重大学	正直 花奈子	量子光学デバイスに向けた窒化物半導体における原子層レベルの界面制御 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_21.pdf
22	京都大学	梅山 有和	二次元層状材料の有機色素増感と水素発生光触媒系への応用 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_22.pdf
23		菅瀬 謙治	世界最高感度 Rheo-NMR 装置の開発 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_23.pdf
24		野木 馨介	環状有機硫黄化合物を機能性 π 共役化合物へ変換する分子リビルド法の開発 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_24.pdf
25		関山 直孝	水素-重水素交換質量分析法 (HDX-MS) を用いた蛋白質凝集体解析法の開発 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_25.pdf
26		朴 昭映	蛍光性核酸類似体 thdG-tC FRET システムを用いたヌクレオソーム研究 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_26.pdf
27	大阪大学	山田 晋也	構造制御による高熱電性能ホイスラー合金薄膜の創製と IoT 技術への応用 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_27.pdf
28		榮永 茉莉	室温超伝導実現に向けた 16 族元素水素化合物の圧力誘起超伝導の探索 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_28.pdf
29		金 美海	「ワディントン地形」に基づいた革新型細胞調製手法の構築 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_29.pdf
30		大塚 洋一	生体成分分布を精細に捉える極致イメージング質量分析法の開発 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_30.pdf
31		稲木 美紀子	細胞キラリティが左右非対称な内臓捻転を駆動する力学的機構の解明 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_31.pdf
32		白木 智丈	構造制御されたナノ多孔体の創製と高機能デバイスに向けた材料開発 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_32.pdf
33	九州大学	織田 ゆかり	高分子の分子鎖熱運動特性を利用した機能性膜表面の構築 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_33.pdf
34		村山 美乃	アミノ酸を配位子とした金錯体による種々の担体上への金ナノ粒子固定化法の開発 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_34.pdf
35		吉田 紀生	液体の統計力学理論を基盤としたマルチスケール理論による酸解離定数の定量的予測手法の開発 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_35.pdf
36		門田 慧奈	サーマルイメージング技法を応用した高 CO ₂ 時代適応型植物探索法の提案 詳細: http://www.toyotariken.jp/scholar18/sc_36.pdf